



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

## —耳鳴りに有効な補聴器療法—

### 聴こえのセミナー(9月22日 参加者24名)

講師: 藤垣均氏 GNヒアリング・ジャパン(株)  
オーディオロジーシニアマネージャー認定補聴器技能者



今回は相談件数の多い難聴者の耳鳴りについて東京電気大音響研究室を経て32年間教育指導、情報発信等に従事されてきた藤垣先生にお話を伺いました。

- 1 耳鳴りとは** 定義: 明らかな音源がないにもかかわらず音として感じる異常な音覚
- 分類: 1、自覚的耳鳴り/他覚的耳鳴り  
2、難聴を伴う耳鳴り/無難聴性の耳鳴り  
3、急性の耳鳴り/慢性の耳鳴り

頻度: 65歳以上の高齢者の30%は耳鳴り経験者  
日本人全体では15%が耳鳴り経験者、生活支障の耳鳴り5%



- 医療機関にかかる耳鳴りトップ3 1位、慢性化した耳鳴り 2位、自覚的な耳鳴り 3位、疾患が見られない耳鳴り
- 慢性・自覚的な耳鳴り=医療機関の対応 ・原因となる疾患が見つからない→直接的な治療を施せない →耳鳴りを消滅させることは困難→生活に支障がなければ放置しても特に問題はない

### 2 耳鳴り当事者の意識

軽度 不安、病気の心配、イライラ、不眠、肩こり、頭痛

↓

重度 疲れ、落ち込み、重症感、対処不能、挫折、混乱、動転、絶望感

### 3 耳鳴りの原因

内耳の障害が引き金となるケースが多い。(場合によっては耳鳴りと関係があっても直接的な原因といえない可能性もある) ⇒内耳だけの問題ではないとすると、脳の問題としてとらえる必要がある。

=つまり、脳を中心にネガティブネットワークが形成されている中での原因 ⇒耳鳴りの治療は脳内の悪循環を断ち切り、生活に支障が無いようにすることにある。

ところで耳鳴りは治療で治すのは難しく、自分で治すしかない。将来的にはIPS細胞を元あったところへ並べることになるが、まだまだ時間がかかる。

内耳障害が引き金ではあるが原因とは限らない。脳が異常反応やネガティブな反応、自律失調を起し、自身の頭の中で大きくしてしまうのが特徴。

### 4 耳鳴りの治療法

- ① 耳鳴りの根本的消失・減弱を目指す。  
ビタミン剤、漢方薬、ステロイド・キシロカインの注入、神経ブロック、酸素療法
- ② 耳鳴りを一時的に軽快させる方法  
マスク療法、電気刺激、抗不安・抗うつ剤
- ③ 耳鳴りがあっても気にならないようにさせる。  
心理療法、自律神経の訓練  
TRT療法=耳鳴り再訓練療法=耳鳴りが気にならないようにする。  
●教育的カウンセリング=耳鳴りのメカニズム・治療法等のカウンセリング  
●音響療法=補聴器治療音を使う

### 5 耳鳴りのカテゴリー別 音響療法 ※下記表を参照

- 音響療法=補聴器治療音による治療  
(カテゴリーI~IV向け、特にIIには最優先)
- 効果としてはとても大きいことが臨床的に証明されている。
- 対象者: 慢性化した耳鳴り、自覚的な耳鳴り、生活支障度が高い
- 長所: 副作用がない。3~6か月の期間で効果がみられる。対象者の70~80%に効果が期待できる。最終的な順応に至ることで永続的效果がある。

### ●●耳鳴りのカテゴリー別音響療法●●

カテゴリー	聴覚過敏	音暴露による増悪	難聴の有無	生活困難度	治療
0	—	—	無し	低い	カウンセリングと、日常生活ではなるべく静寂を避ける
I	—	—	無し	高い	SGの使用(耳鳴りよりわずかに小さく)聴力の程度によっては補聴器を適用
II	—	—	有り	高い	補聴器の適応が最優先
III	有	無	無関係	高い	補聴器の利得、あるいはSGの音を聴力閾値より少しだけ大きく
IV	有	有	無関係	高い	補聴器の利得、又はSGの音は閾値と同じくらいから始め、少しずつ大きくしていく

## 役に立つ 新シリーズ【4】

第4回は、80代女性からの相談です。

数年前から聞こえにくさを感じていたが、最近は遠方に住む家族からの電話の音が聞きとりにくくなってきて、困っている。

予算や使用したい場面が限られていることから、補聴器を装用するなら片耳装用にしたい。



センターで、まず音の聞きとりについて測定したところ、両耳に軽度～中等度の聴力低下があり、左耳の方がより低下していました。

### 言葉の聞きとり測定を実施

次に、言葉の聞きとりを測定したところ、左耳と右耳に差が見られ、右耳の方が聞き間違いが少なく、また左耳は大きな音にしても言葉の聞きとりに限界がある、という結果に。右手でメモをとることがあるので、左耳で電話を受けるという癖がついていたが、**今後は右耳で電話を受けるよう促しました。**

また、補聴器装用を検討する際には、**右耳に補聴器をつけた方が言葉を聞きとりやすくなる可能性が高い**と推測されること、まずは自宅で片耳ずつ補聴器を試聴してみて、聞き心地を確認するよう勧めました。



**言葉の聞きとり測定**  
＝語音明瞭度測定  
50音を用い、どれくらいの音の大きさで、どの程度正しく聞きとれるかを測定。普段の会話における不自由さを推定したり、補聴器を装用した時の効果を推測したりできる。

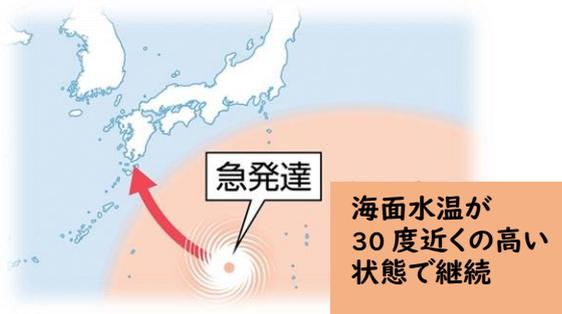
## 超大型台風14号 九州上陸



気象庁の発表で「これまでに経験したことのない過去最高の台風」14号が9月18日から19日にかけて九州上陸、佐賀県に最接近しました。当初、佐賀県内を通過する可能性も予測されていましたが、鹿児島～天草～柳川～北九州を通過しました。

唐津市では44.1mの最大瞬間風速を観測され、長い停電や断水がありました。サポートセンターでは安否システムを発動しました。

聴覚障害者関連の被害は、駐車場のトタン屋根が吹き飛ばす被害や停電が報告されました。



### 要予約 巡回聴こえの相談

聴こえについて、不安を感じることはありませんか？  
まずは自身の聞こえにくさの程度を確認してみましょう。  
測定・相談は無料です。

11月22日(火) 10時～15時

大町町公民館

12月13日(火) 10時～15時

伊万里市

松浦コミュニティセンター



## 手話通訳者養成講座Ⅰ・Ⅱ修了

台風14号の佐賀接近で最終日9月18日は休講となりました。修了証はそれぞれに後日渡されました。Ⅰ：7名 Ⅱ：8名

最高齢受講者の嬉野市の川原陽子さん(写真)からはⅠ講座の受講生や担当講師、センターのスタッフの長所をとらえた気持ちのこもった感謝状をそれぞれに渡されました。受け取った面々は感無量でした。



編集後記：走るのに良い季節になりました。(m)

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705

メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30～18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始